

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書19章1～10節＞
人は変わり得るのか？ 変われるとしたら、それは何によってか？

1 ((1-4) ザアカイとはどういう人か？ なぜこんな行動に出たのか？

徴税人とは当時のイスラエルの占領国ローマのために税を集める仕事をしていて、不正な仕方でお金を築く人もいました。ザアカイもその一人であり、人々から白い目で見られていたのです。その彼がどうしてもイエス様を見たいと思ったのには理由がありました。イエス様が自分たち徴税人と共に食事をされる人であることを知っていたからです(5章27-32節)。

2 (5-7) イエス様の言葉を聞いて、ザアカイが驚いた理由。

ザアカイはイエス様の言葉に驚きました。初めて会う自分のことを知っておられたからではありません。イエス様が語られた内容に驚いたのです。ザアカイの家に泊まったら、今度は泊まった人が白い目でみられるようになります。ですから、そんなことを言う人がいるとはこれまで全く考えられなかったのです。現に、この後、ザアカイの所に行ったイエス様を非難する人たちが現れています(7節)。

3 (8-10) ザアカイは変わった！ それはイエス様を知ったから！！

ザアカイはその非難の声を聞いて、イエス様に、これからの自分がすべきことを告げました。その内容は、彼がこれまでとは変わったことを示すに十分な内容でした(8節)。イエス様はこの言葉を聞いて、「今日、救いがこの家を訪れた」と言われました。ザアカイは、イエス様がありのままの自分を受け入れて下さったこと(=反省して正しい姿に戻ったら受け入れる、というのではない!)に感激し、この方イエス・キリストと共におれること自体に何よりも(=どれだけお金を持つよりも)大きな喜びを見出したのです。だから、施し、返すことが本当にできると思えるようになったのです。

● イエス様と与えて下さった神様と共に生きるときに、人は変わる！

「人の子は、失われたものを探して救うために来たのである」(10節)。神様は私たちにこの方と共に生きる道を用意して下さいました。教会の礼拝を通して聖書の御言葉の解き明かしを聞きながら生きる道です(使徒言行録8:26-40)。この恵みの道を感謝しつつ歩いて行きましょう。